

## 平成22年第13回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成22年12月24日（金） 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、松永教育長
- 4 説明のための出席者  
古川教育部長、池浦教育総務課長、久住子育て支援課長、高橋学校教育課長、  
嘉代小中一貫教育推進室長、西山小中一貫教育推進室主幹、遠藤教育教務課  
長補佐、阿部教育総務課庶務係長、大竹小中一貫教育推進室主任
- 5 傍聴人 2人
- 6 議 題
  - (1) 前回会議録の承認  
平成22年第12回教育委員会定例会会議録について
  - (2) 議 事  
議第1号 一ノ木戸小学校及び裏館小学校基本設計（最終案）について  
議第2号 第一中学校区小中一体校基本設計（提示案）について  
議第3号 三条市立幼稚園管理運営に関する規則の一部改正等について
  - (3) その他  
ア 三条市幼児教育推進プラン（案）について  
イ 小中一貫教育関係の概要報告について  
ウ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
  - (1) 前回会議録の承認について  
長沼委員長から平成22年第12回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定
  - (2) 議 事
    - ・ 議第1号 一ノ木戸小学校及び裏館小学校基本設計（最終案）について  
池浦教育総務課長から説明  
質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定。
    - ・ 議第2号 第一中学校区小中一体校基本設計（提示案）について  
古川教育部長、嘉代小中一貫教育推進室長から説明  
質疑に入る。

(長沼委員長)

先日の検討委員会では、どんどん良くなってきているという意見を話されている方がとても多かったように思います。私としても大変な作業であったと本当に感謝しております。図面が出てくるたびに感心しております。

この間、出て参りました校務センターは、2階だったものを1階にして、私もこれは大変いいと思うのですが、それは皆さんお聞きになっていかげだったでしょうか。

(坂爪委員)

両方とも一長一短だろうと思います。中学校の先生方に見てみたら、小学校と違って1時間ごとに変わりますから、1階から4階まで、下りてきてまた行くということでもありますので、そこをどう解釈していったらいいか。小学校の先生に見てみたら3階までですので、何とかなるのではないかという感じはしますが、特に女性の先生で妊娠中はかなりきついただろうなという感じは受けます。

2階に置くと、この図からして、多分グラウンドが見えるんですよ。そうすると管理上は外も見られる。1階だったら、すぐ目の前が昇降口になっていまして、不審者という話がありましたが、外来者も、駐車場の方から入ってくると少し見づらいなという感じはします。これはもうどこかで、こういうふうになりますということで決定して構わないだろうと思います。

荒れた学校を前提にものを考えていくと多分決まらないだろうと思います。普通の学校の、現場の先生方の意見を聞くと2階にあってほしいというものが多かったようです。そこ辺りを考慮して決めていかれたらどうでしょうかという気がします。

それからもう一ついいですか。体育館は夜間、社会体育で使いますよね。通路になるところがかなり、2階まで上がらなければ駄目ですので、これを検討されると思います。私はこういうふうと思うのですが、武道場の出口のところ非常に非常口がありますよね。これを通して階段に来て体育館に上がれば、職員玄関は閉めておいて、こっちだけを開ければ廊下を通して階段を上がって体育館に出られるかなという気がします。いずれにしろ夜間でしかも駐車場が近くて、そして外部の方が入りやすいところがいいのかなという気がしますので、駐車場側の職員玄関と書いてあるところだと、いろいろな所を通るのではないかなという気がします。

それからもう一つ、ここに多目的ホール（ランチルーム）とありますね。これは使うのは小学生がほとんどだろうと思います。そうすると小学生は2階3階ですので、ここにわざわざ下りてくるということになるとちょっと大変かなという気がします。もし、2階に上がればエレベーターで食缶なども運べるだろうと思いますし、ここは通路になる可能性もありますので、検討が欲しいかなという感じがしました。

それからもう一つ、更衣室が職員玄関の駐車場のところに「男女」とありますよね。体育館に更衣室がないんですよ。それで、ほとんど更衣するのは体育館とプールのところだと思うのですが、プールの方はシャワー室とトイレと更衣室がありますが、体育館の更衣室がないというのはちょっと、部活の終わった後などを少し考慮していただければいいかなという気がします。

(長沼委員長)

有り難うございます。

多目的ホールにつきましては、これは地域で使えるような確定した部屋としてはどうかというような意見が出たように思うのですが、今の坂爪委員の御意見はいかがでしょうか。

(嘉代小中一貫推進室長)

今ほど貴重な御意見を3点ほどいただきました。十分に施設配置の中で検討する内容だと思いますので、意を踏まえまして再度検討を進めて参りたいと思います。

(渡辺委員)

教務室の件ですが、これは今現在の中学校の教務室の実態を見たら、ほとんどが2階ではないかと思うのですよね。一部、栄中学校が1階ですね。そのくらいだと思うのですよね。やはりそういうことから考えると大体4階校舎で教務室が2階ということで慣れていますから、そういう考えがやはり大きく作用しているのではないかなと思います。

また、最初に説明がありましたように、外部から不審者など、子どもたちの安全を考慮した場合、1階に教務室があった方がそういう面ではいいのかなと。一長一短はあると思います。

(坂爪委員)

参考までに、中学生が荒れるという話が出ていますが、本当にガサガサしてきますと、授業が終わった先生はしばらく残るんですよ。で、見回りも必ず10分休みに入れますし、それから授業が始まってチャイムを教室で聞きましょうと早めに出て、それで教室でチャイムが鳴ってさあ授業を始めましょうと。ほとんど目を行き届かせている。荒れてくるとそうやるんですけどね。

荒れてこないと先生方、サッと出てきて教務室で楽々するのですが、そんなことも十分に見当できます。そこ辺りも考えられると1階でもいいかなと。実際に荒れてくると今度は、先生方が動くことになって2階の方がいいかなという感じがします。

(長沼委員長)

教務室は私も2階もいいなと思っていたのですけれども、いろいろな父兄の方にお聴きしましたら、小学校は割と行きやすいところにあつたと。中学校になると途端に2階になって入りにくくなった。敷居の高いものになってしまったという意見を聞いて、あ、そういう考えもあるのかと。そして、検討委員会にそういう意見が出てきたのかなと思いました。

父兄というのは恐る恐る2階までというのは気軽には行けない、1階で例えば連絡が取れて何々先生ということであれば入りやすいけれども、2階まで様子が分からないところに行くのは、何か思われはしないかなと、今の中学校でもなかなか難しいという父兄の意見を聞きまして、それで1階という御意見が出たのかと思いました。

そして、2階でありましても教師ステーションというものが各階にありまして、これの使い方でもかなりいろいろな御心配には対応できるのではないかと思います。

私が教師をしていましたころには4階5階まで1階から上がっておりまして、夏休みがあけますとこんなに大変かなと思っているのですが、やはりすぐ慣れます。先生方にとってはすぐ慣れてくださると思って、1階でも大丈夫かなと思っています。ただ父兄

の意見が私はちょっと、そういう視点は私にはなかったので一応お知らせいたします。  
(須佐委員)

4階の小学校棟の上の屋上部分について、予算もあるのでしょうけれども、何かやっぱり建物は大きいにこしたくないと私は感じました。いろいろと中学校でも小学校でも何かあった時に生徒たちを集めて打合せとかをしたりする部屋があればあるだけいいのではないかなという気がします。後になって付け足すとなるとまた費用も多額にかかると思いますので、もしできれば小学校棟の上4階の部分があいています。

最近、屋上って出られないですね。出られないのであれば中学もいろいろな部活があったりして、特に雪がふると体育館の奪い合いなどになっているようです。せっかくであれば、ホールなどがあった方がいいかと、今委員さんの意見を聞いて思いました。

それから、検討委員会で全員が拍手で御承認ということで、本当に素晴らしい形になったと思います。この形でやはり検討委員会の皆さんが求めてこられた形なのかなという、本当に反対意見が全く出なかったということもあると思うのですが、非常にいい形になったのかなと思います。

先日、教育委員で視察に行った八王子のみなみ野小学校は、ちょうど学校が終わった時間だったんですね。その日は中学校がテストで終わって、お昼くらいですか、池浦課長はその辺を見せるために時間をそうしたのかなと思いましたが、学校が終わって、小学校と中学校のグラウンドがくっついていましたので、中学生が小学生のグラウンドでサッカーをしている。部活動もあるのですが、多分部活がない子で、テストが終わった、やったあと、小学校のグラウンドでサッカーをしている。小学生も一緒に遊んでいるんです。それを見た時に本当にこの小中一貫というものは小学校と中学校が隔たりなく、仲良く9年間の中で一緒に生活し勉強できる場であり、学校なのかなと、本当にすごくうれしかった。

今、市でそういうふうに進めている。本当にこれがいい形なのだなと。そうでないと、やはり中学生は行き場所がない、遊び場所がないと、ともするとやはり違う遊びに走ってしまう。小学校のグラウンドが使えて遊んでいる姿を見たら、本当にこれはいい形なのだなと感じました。第一中学校がそういう形になってくれるだろうと思って、本当にうれしい限りでございます。

(松永教育長)

この前の教育委員会では特に出なかったのだけど、会議室は、いわゆる共用棟の中学校側の西側にある、これひとつだけなんではないでしょうか。小中で教職員で会議をする、あるいは小学校と中学校で別々で別れて会議をする、いわゆる中会議室みたいなものがどこかにあるのかなと思って見たのだけれど、やはり取れないのだろうか。小中合同会議、あるいは小の会議、中の会議というのは、その辺のところは図面の中にどこかにあるのでしょうか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

これは1つであろうかと思えます。今ほどおっしゃっていただきましたような、そういう合同会議は、教務室が一体となっておりますので、多分にそういうことを思って会議室を多くは取っていないと思えます。小中の連携での先生方の会議につきましてはや

はり教務室を主体にした考え、また個別の、例えば学年の先生方はそれぞれ相談ラウンジなど、いろいろな諸室が結構ございます。それらを利用しながら可能かと思いますが、先般の検討委員会においても、いろいろなところに小さな相談室なり会議室があった方が学校として大変助かるという御意見もございました。今ほどの教育長のお話も含めて再度会議室又は相談室のありよう、諸室の配置が可能かどうか、検討させていただきたいと思います。

(松永教育長)

保健室の中学校の位置は1階で、救急車等が来るにはここがいいだろうけれども、位置としてやはりこういうところがいいだろうか。

(長沼委員長)

親でしたら、具合が悪くて迎えに来てほしいとかそういう時には、こちらがずっといいです。前は小中隣り合わせでしたが、お話にありましたように体育館でのケガというのはエレベーターもありますし、何とかなると思うのです。すぐ小学校が見えますし。

(渡辺委員)

発生場所や発生件数、そういうものをトータルするとやはり保健室は1階の方が。

(松永教育長)

グラウンドの方に近いということですね。

(渡辺委員)

もちろん搬送の面もありますし。

(坂爪委員)

保健室登校の子にしてみたら、近くていいです。人に見られないで。

(長沼委員長)

そうですね。すっと入れますね。

(坂爪委員)

結構、元気が出てくると不登校だけでなく保健室だけに来るという子ども、小学校は結構いると思います。余り出してもらっては困ることですが、位置としてはいいのではないのでしょうか。

(長沼委員長)

そうですね、カウンセリング室もついていますし、私もここがいいなと思います。

(渡辺委員)

先般の検討委員会で、運用面にかかるいろいろ細かなものを出されましたが、私は根本的にはそういうものを全部対応されての上で、この案に賛成いたします。

先ほど須佐委員が視察の件でのお話をされておりましたが、私も過去3年間、全国の先進地の小中一貫教育の実践校を視察させていただきました。ほとんどの学校では非常に充実した教育活動がなされていたことが事実だったと思います。そういう面で当三条市が実践しようとするこの大きな教育改革は、私は表だって賛成をいたします。一部不安の声もあることは事実でございますが、実際今度、開始の後、子どもたちが生き生きとした学校生活、そして充実した教育活動が行われている、そういう実態を披露することがその回答に最もつながる一例ではないかなと思っております。

私はこういうハード面での充実はもちろんだと思いますが、今、盛んに実践されておりますカリキュラムの編成、それからソフト面はやはりウエイトが大きい。教職員の資質の向上といいますか、これらを合わせてより充実したものを準備していかなければならないと強く感じております。

(長沼委員長)

私も今おっしゃったように八王子で下校の様子を見ました。大きい子と小さい子が混ざって下校している様子が本当に和やかなものです。こういうふうな形が見られるんだなと思って、とても楽しみにしているところです。

そして先日第一中学校の研究発表会を見せていただきました。本当にどこの学校もですけれども、先生方が小中一貫を頭に置いて小小連携というものを本当に一生懸命にやってくださって、毎回感謝しております。その帰る途中に6年生の男の子たちと一緒にあって、ちょっと興奮気味に、おれは3回発言したとか、お前は2回だけ短かすぎたとか、男の子がそういうことは余り言わないのかなと思っていましたが、おれ2回だったし、お前は1回しかしなかったと、そういうことを言ってとても喜んで、子供にはひとつのエネルギーの発散だと思うんですね。とてもありがたく思っ帰って参りました。練りに練ってくださった案について、これは私も本当に、もろ手を挙げて賛成しております。

いかがでしょうか。では、これで承認と決定いたします。

全員異議なく承認と決定

・ 議第 3号 三条市立幼稚園管理運営に関する規則の一部改正等について

久住子育て支援課長から説明

質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定

(3) その他

ア 三条市幼児教育推進プラン(案)について

久住子育て支援課長から説明

質疑に入る。

(長沼委員長)

私が望んでいたようなことをいろいろ書いてくださって有り難うございます。今子どもたちのことで、まず2つ心配していることがあります。1つは、これはいろいろなところで本にも文章にもなっていますけれども、若いお母さん方がおっぱいをあげているときも携帯を一生懸命しておられて、本当に抱きしめて、見つめ合っていない。こういうことが10年後には大変なことになって返ってくるとあちこちで言われます。子供の目を見ていない、子供に目がいていないということは、本当にこれは恐ろしい無視だと思います。気軽に街を歩きながらでも、ベビーカーを押しながらでも携帯をしていらして、子供の顔を見ていない、表情を見ていない。本当に子供の笑顔とか、怒った顔とか、足をクニクニすることで伝えることを母親からキャッチしてもらえないということは、子供にとってはそういう能力はムダなのだなと。だから割と無表情な子ができてし

もう原因になるような気がしてなりません。

それでお母さん方には、少なくとも子供がいる時には携帯から目を離していただきたい。私は中学生なんかにも、寝る時は携帯は5メートル離してと、電磁波で恐ろしいことになると脅すのですが、やはり携帯は便利なものですから、肌身離さずそばにあって、心はいつもそこにある。子どもの身になってみれば、そういう悲しいことを、これは年寄りの心配ですけれども、具体的にそれを教えてあげるといいと思っています。

もう1つは、今皆様御存じの低体温ですね、幼児の低体温がどんどん広がっていると。幼児の低体温の原因は、元々そういう低体温のお母さんから生まれたということもありますけれども、余りにも環境が良くて、寒い、暑い、汗をかくとということをしないで、体温調節がうまく機能しないままに大きくなって、低体温の子供が増えてきている。

低体温がなぜいけないかというと、御存じのようにアレルギーとか、それから免疫力が不足する。赤ちゃんはそもそも温かいもので、赤ちゃんの手や足が温かくなると必ず眠る兆候なんですね。いっぱい遊んで筋肉がつく、幼児であっても始終足をバタバタして筋肉を育てていけばちゃんと消費の良い体になって体温が上がって自然眠るわけですね。幼稚園でも汗をかいていっぱい遊んでいけば、早寝早起きと言わなくても、とても9時過ぎまで起きていられないと。

子どもは十分に遊ぶと、ご飯の途中でも眠ってしまいます。寝せよう寝せようというのではなく、十分に発散して、そして気持ちも心もすっきりした状態でご飯を食べながら寝るという循環を、その気持ち良さを幼稚園までに子どもの体に教えてあげると、体温の低い子供が出てくるという心配が随分少なくなるのではないかと。

やはり基本は生活です。36℃いかないから低体温だと認識している中学生はたくさんいます。それは本当に恐ろしいことなのだとということをやはり理解してもらおう。小さければ小さいほど簡単に治せるので、そうしていただくといろいろな施策が生きて思うんですね。低体温で元気がないと血圧も低い赤ちゃんなんていうのが出てきます。一生懸命に育てようと思っても、それこそ生きる力の根本がとても残念な状態になってしまうと思うのです。低体温はとても心配な状態で、幼児に本当に増えてきているということを、やはりお母様方や保護なさる方々に伝わるとずっと良いと思っています。これにそういう気持ちが入っていると思うのですが、具体的にそういうことがあると分かりやすいような気がします。よろしく願いいたします。

(坂爪委員)

関連してちょっといいですか。今委員長さんのおっしゃられた、前半の携帯の話がありました。私はよく小学生と中学生を夜間社会体育でサッカーをやっているのです。終わった後にご苦労さんと、一人ひとりと握手して終わるんですね。目が合わないですよ、全然。最後は別れる時に目を見て握手しようと言うのですが、絶対目が合わない。これは何だろうか。いろいろな要素があるだろうと思うのですが、今委員長さんのおっしゃられたことも含まれているのかなという感じがします。そういう、本当に具体的なことをもっと何か出してもらうといいかなという感じがします。

嘉代小中一貫教育推進室長、西山小中一貫推進室主幹から説明  
質疑に入る。

(坂爪委員)

小中一貫の質問事項のところ、この小中一貫をやれば学力が上がりますかとある。学力のとらえ方がすごくあいまいになっていて、結構答えはきちっと出ているのですが、どうしても保護者の方は勉強ができればいいというものの考え方をしているんですよ。ここで今反省のところ、成果と課題というところが出ていますが、学習意欲が高まったというところが100%くらいに上がっているわけです。これをもっといろいろなところを出して、そして小中一貫をやったときにはこういうふうに意欲が出た、子どもたちがついてきたということを出すべきだろうと思います。親にとっては、勉強ができるというちょっと偏った考え方をしているなという感じを受けました。これはすごいいい資料だと思います。是非出していただければと思います。

(長沼委員長)

先日も、先生方の移動、子どもたちの移動に問題があるというような御心配もあったようですけれども、子どもたちは移動を楽しんでいるんですね。やはり学校によってはピシッと整列して待って、サッとやってくる学校もあれば、遠足的な雰囲気もあったりして、それがまた聞いているととても楽しいのですが、子供はここで15分もムダだとかそういうことではなく、ウキウキして移動を楽しんでくれているような気が私はしました。

先生方はウキウキしないかも知れません。これほどいろいろやったださって、更にウキウキしろというのは本当に酷かもしれませんけれども、やはり楽しんで元気にやっただけだといいなと思います。どちらも本当にいい研究授業を見せていただきまして有り難うございます。

(松永教育長)

今日も修正案になっているのですが、この「案」がいつ取れるのかなど。我々の意志決定で、これでもう進めますよとなれば、文字の修正や何かがあったとしても、この「案」というのは取って、これを元にしていろいろなところに説明会に行ったりすることになると思うのですが、その時期をどうとらえたらいいのか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

私どもとしては、これは小中一貫教育検討委員会が市民の皆様方の御不安、御懸念というものを払しょくする広報とすべく、まさに皆さんに理解していただく方法としてこういう考え方をしっかり根づかせることが大事ではないかということで御議論、御討議いただいた内容です。小中一貫教育検討委員会で全員了解いただいた段階でこの冊子については了解を得たと考えております。本日は案というままにお出ししたところですが、おわびを申し上げます。

(池浦教育総務課長)

基本的なことなのでちょっと付け加えさせていただきます。議案につきましては本日御了解をいただいたという意志決定をもって案をとらせていただきます。

ウ 次回教育委員会定例会の日程について

池浦教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成23年1月20日（木） 午後1時30分

会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉会宣言 平成22年12月24日 午後2時50分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

平成23年1月20日

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子